

歩掛参考見積様式

○AUVにおけるダム・貯水池深淺測量
【宇連ダム】

AUVにおけるダム・貯水池深淺測量

1. 0km2あたり 深淺間隔1m

項目	規格	数量	区分	直接人件費に関わる技術者数等(人・%)									
				測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	機械経費	材料費	備考	
作業計画	現地踏査含む	1.0km2当たり	外内業										
AUV深淺測量		1.0km2当たり	外業										
3次元地形データ作成		1.0km2当たり	内業										
堆砂量計算	スライス法	1.0km2当たり	内業										

水面幅150m・10測線あたり 深淺間隔1m

項目	規格	数量	区分	直接人件費に関わる技術者数等(人・%)									
				測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	機械経費	材料費	備考	
図面作成	縦断図・横断図	10測線当たり	内業										
堆砂量計算	平均断面法	10測線当たり	内業										
測量結果整理		10測線当たり	内業										

- 注) 1. マルチビーム深淺測量時における湛水面積は、1. 1km²を想定しています。
 2. マルチビーム深淺測量時における最大水深は、1. 0mから53. 38m(224. 67m-171. 29m)を想定しています。
 3. 宇連ダムの水質(表層)については、昨年の実績は濁度で平均1(最大2)です。
 4. 区分欄に外業、内業を記入して下さい。
 5. 機械経費率及び材料費率は、直接人件費に対する割合(%)とします。
 6. 見積もり様式に記載している項目以外で、必要な項目等がある場合は、追記して下さい。
 7. 技術者の職種と定義については、国土交通省が公表している「令和7年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。上記歩掛は、その他原価及び一般管理費等を含まないものとします。
 8. 作業計画・AUV深淺測量・3次元地形データ作成・堆砂量計算(スライス法)の変化率
 面積による変化率がある場合は、歩掛参考見積書に算式等を記載すること。
 9. 図面作成(縦断図・横断図)・堆砂量計算(平均断面法)・測量結果整理の変化率
 水面幅による変化率
 水面幅による変化率は、原則として次式により算出するものとするが、算式を見直したい場合は、歩掛参考見積書にその旨を記載すること。

なお、変化率は少数第2位(少数第3位を四捨五入)まで算出するものとする。

$$y = 0.003w + 0.55$$

y : 変化率

w : 水面幅(m)

【計算例】

$$W : \text{水面幅 (m)} = 213.83 \text{ m}$$

$$y = 0.003 \times 213.83 + 0.55$$

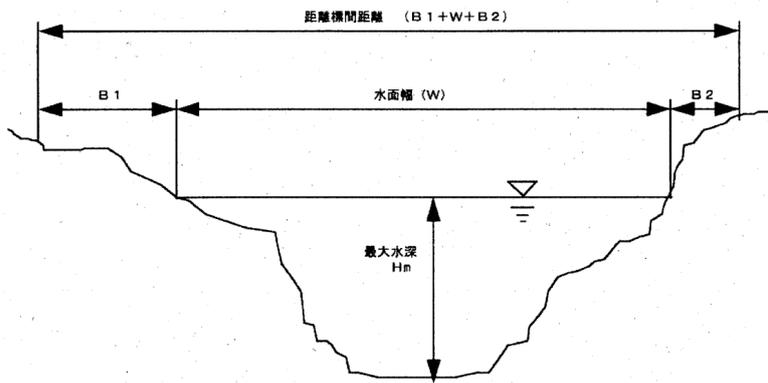
$$y = 1.19$$

故に上記の歩掛かりに変化率1.19を掛け合わせる。

備考1. 水深により下記による歩掛適用を原則とする。

1) 水深H < 1m : 河川定期横断測量(平地または山地) (B1+W+B2) 適用

2) 水深H ≥ 1m : 本歩掛による深淺測量(W) + 河川定期横断測量(平地または山地) (B1+B2) を適用。



w : 水面幅 (m)

備考2. 最大水深1 m未満となる測量は、河川定期横断測量(平地または山地)の歩掛適用を原則とする。

なお、AUV深浅測量にあたっては、自社での作業実施の可否を記載すること。

AUV深浅測量の実施可否	可・否
--------------	-----

○マルチビームにおけるダム・貯水池深浅測量
【宇連ダム】

マルチビームにおけるダム・貯水池深浅測量

1.0km²あたり 深浅間隔1m

項目	規格	数量	区分	直接人件費に関わる技術者数等(人・%)									
				測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	機械経費	材料費	備考	
作業計画	現地踏査含む	1.0km ² 当たり	外内業										
マルチビーム深浅測量		1.0km ² 当たり	外業										
3次元地形データ作成		1.0km ² 当たり	内業										
堆砂量計算	スライス法	1.0km ² 当たり	内業										

水面幅150m・10測線あたり 深浅間隔1m

項目	規格	数量	区分	直接人件費に関わる技術者数等(人・%)									
				測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	機械経費	材料費	備考	
図面作成	縦断図・横断図	10測線当たり	内業										
堆砂量計算	平均断面法	10測線当たり	内業										
測量結果整理		10測線当たり	内業										

- マルチビーム深浅測量時における湛水面積は、1.1km²を想定しています。
- マルチビーム深浅測量時における最大水深は、1.0mから53.38m(224.67m-171.29m)を想定しています。
- 宇連ダムの水質(表層)については、昨年の実績は濁度で平均1(最大2)です。
- 区分欄に外業、内業を記入して下さい。
- 機械経費率及び材料費率は、直接人件費に対する割合(%)とします。
- 見積もり様式に記載している項目以外で、必要な項目等がある場合は、追記して下さい。
- 技術者の職種と定義については、国土交通省が公表している「令和7年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。上記歩掛は、その他原価及び一般管理費等を含まないものとします。
- 作業計画・マルチビーム深浅測量・3次元地形データ作成・堆砂量計算(スライス法)の変化率

面積による変化率がある場合は、歩掛参考見積書に算式等を記載すること。

- 図面作成(縦断図・横断図)・堆砂量計算(平均断面法)・測量結果整理の変化率

水面幅による変化率

水面幅による変化率は、原則として次式により算出するものとするが、算式を見直したい場合は、歩掛参考見積書にその旨を記載すること。

なお、変化率は少数第2位（少数第3位を四捨五入）まで算出するものとする。

$$y = 0.003w + 0.55$$

y : 変化率

w : 水面幅 (m)

【計算例】

$$W : \text{水面幅 (m)} = 213.83 \text{ m}$$

$$y = 0.003 \times 213.83 + 0.55$$

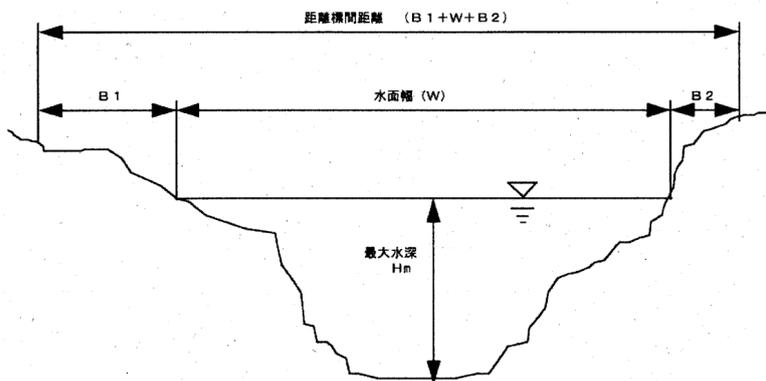
$$y = 1.19$$

故に上記の歩掛かりに変化率1.19を掛け合わせる。

備考1. 水深により下記による歩掛適用を原則とする。

1) 水深 $H < 1 \text{ m}$: 河川定期横断測量（平地または山地）（ $B1+W+B2$ ）適用

2) 水深 $H \geq 1 \text{ m}$: 本歩掛による深淺測量(W) + 河川定期横断測量（平地または山地）（ $B1+B2$ ）を適用。



w : 水面幅 (m)

備考2. 最大水深1m未満となる測量は、河川定期横断測量（平地または山地）の歩掛適用を原則とする。

○河川測量

【宇連ダム】

河川定期横断測量 間接水準（山地）幅100m・10本当たり

	直接人件費に関わる技術者数等 (人・%/100m)						
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量船操縦士	諸雑費
※1 観測		1.0	2.0	3.0	1.4		%
※1 横断面図作成		1.0	1.0	2.0			—
堆砂量計算							%
※1 点検整理		0.4	0.7	0.2			—

※1 観測、横断面図作成及び点検整理の各項目の員数は、水資源機構 積算基準及び積算資料（調査等編）の歩掛かりを参考として記載している。今回の見積もりは、堆砂量計算の歩掛かりである。但し、堆砂量計算を追加することによって観測、横断面図作成及び点検整理の員数が変更となる場合は員数の変更を行っても構わない。

※2 技術者の職種と定義については、国土交通省が公表している「令和7年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとする。

上記歩掛は、その他原価及び一般管理費等を含まないものとする。

※3 河川定期横断測量の変化率

測量幅による変化率

測量幅による変化率は、原則として次式により算出するものとするが、算式を見直したい場合は、歩掛参考見積書にその旨を記載すること。

なお、変化率は少数第2位（少数第3位を四捨五入）まで算出するものとする。

$$y = x \div 100$$

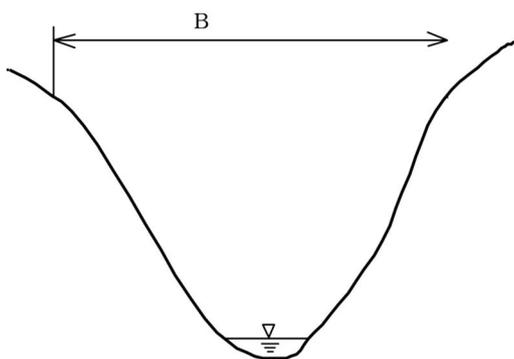
y : 変化率

x : 測量幅 (m)

※4 河川定期横断測量の測量幅

河川横断（山地）の測量幅

河川横断（山地）の測量幅は、下図の全幅Bをとる。ただし、水深が1m以上の場合、測量幅はB-Wとし、Wは水面幅とする。



○ダム貯水池背水計算

【宇連ダム】

	直接人件費に関わる技術者数 (人/1業務)				
	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員
背水計算					

※ 技術者の職種と定義については、国土交通省が公表している「令和7年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとする。

上記歩掛は、その他原価及び一般管理費等を含まないものとする。